

よみかき茶屋 教材事例集

新聞を使つて学ぶ②

教材を使うにあたって

私が初めて識字学習に関わったのは、四年半前に「よみかき茶屋」に入ったときでした。そこで中高年の学習者に接して感じたのが、「勉強は楽しい」と思ってもらえるような教材を準備することが一番大切なのではないかということでした。

しかし、適当な市販の教材を見つけないことができません、新聞投書を中心に、記事や投稿などを借用して手づくりすることにしました。特に一般の人の投書は身近な内容が多く、学習者の関心が得られて「楽しい勉強」につながるのではないかと思つたからです。

学習者の反応を見ながら試行錯誤を重ねていくうちに、大体現在の体裁に落ち着きました。学習者のレベルに応じて若干形式を変えています、教材文の音読、漢字の練習、短い作文の三つが中心の柱になっています。

さらに、単にこれらの問題をこなすだけでなく、教材に採用した文の内容について、共感や反論などの感想とか、同じような体験談の交換で話はずみ、コミュニケーションの上でも役に立っています。

今回は、著作権の関係で、新聞記事の題材しか取り上げることができませんでした。そのため、とっつきにくいという印象を持たれるのではないかと危惧しておりますが、今後さらに工夫を重ねたいと思います。

最後に、私のつたない教材が少しでも学習者のみなさんのお役に立てたら非常にうれしいですし、さらに進んで、文を読む楽しさを実感していただけたらこの上ない喜びとなります。

教材の使い方、及び学習の進め方

(1) 本文の音読

一、二段落ずつ順番に音読します。これを二回繰り返します。

(2) 漢字の勉強

本文に出てくる漢字を三、五字取り上げて、それらの漢字を使った熟語の練習をします。

(ここでは、漢字の難易度に関係なく、できるだけ日常生活で使用されそうな熟語を取り上げています。)



★ () の左側の枠は、右枠で書いた字の自主練習用です。

★ () は本文中に出てくる熟語という意味です。

★ () は本文中にある漢字という意味です。

(3) 作文

本文の内容に関係のある題で短い文を書いてもらい、主に文字の訂正・添削をします。

(そして、私の方からも一筆感想を書き添えるよう心がけています。)

(4) その他

★ (2) で練習した漢字以外の、本文に出てくる二字熟語をA列、B列に分解したものを、元の熟語に組み合わせます。

★ 漢字の尻取りはゲーム的に漢字をつないでいくのですが、音読み、訓読みの多様性を学んでもらうのがねらいです。

★ また、今回は少ないのですが、ひらがな文を漢字を交ぜた文に書き直す作業も、送りがなを正しくつける練習として有効で、学習者のあいだでも好評です。

(5) さらに、学習者の中には、自宅で本文を筆写したり、すべての漢字にふりがなを打ってきて、間違いの訂正を求める熱心な人もいます。

第2巻へ目次

タイトル

出典(掲載年月日)

1	68歳 私は夜間中学生	朝日新聞(2003.1.9)	… 1
2	カラスなぜ来るの 供物狙って大挙襲来	朝日新聞(2003.6.25)	… 4
3	「笑う門には福来る」を裏付け	朝日新聞(2001.5.27)	… 7
4	老いてこそ「始める」大切さ	朝日新聞(2002.2.25)	… 10
5	果物人気順位「楽ちゃん」バナナ躍進	朝日新聞(2004.10.23)	… 13
6	リハビリ耐え96歳恩返し	朝日新聞(2004.1.17)	… 16
7	冬こそシャキッと過ごそう	朝日新聞(2003.1.9)	… 19
8	つり革高低模索	朝日新聞(2004.11.11)	… 22

— 68歳、私は夜間中学生 — (新聞記事)

68歳の「おばちゃん」はこの春、夜間中学の3年生になる。阪神大震災でがれきの下に閉じこめられ、46時間後に助け出された。この奇跡的な生還をきっかけに、「ちよつと広がった人生」になった。

働き詰めの人生で、「おばちゃん、子どもの頃から社会人やった」が口癖だ。

あの日、午前5時すぎ。経営する神戸市中央区のカラオケスナックにいた。コーヒを飲もうとした瞬間、激しく揺れ、壁が落ちてきた。カウンターの下に潜り込んだ。

暗やみの中、寒さで歯が鳴った。体を少しでも温めようと、耳を引っ張ったり、頭をたたいたりした。「このまま死ぬのか」と思うと、息子と娘の顔が浮かんだ。

奄美大島の生まれ。家計が苦しくて小学校には行けず、親類の家に住み込んで子守をした。

神戸に落ちついたのは25歳のころだ。結婚し、子どもができたが離婚。食堂やクリーニング屋の店員、家政婦……。「うちが学歴ないからって、苦しい生活を息子と娘に送らせたくない」。その一念で働き続けた。

意識が遠のくなか、がれきを除く人たちの声が聞こえた。「助けてっ」と叫んだ声が届いた。

震災から数年後、再び中央区でカラオケスナックを開いた。だ

が、前の店の常連客は、亡くなったり、別の地に移ったりで、はやらなかった。娘が「もう仕事ばかりせず、学校でも行ったら」と勧めてくれた。

朝、自転車にまたがり、7時半に三宮の飲食店へ。午後からポトアイランドの事務所へ。清掃の仕事だ。夕方、神戸市内の夜間中学に向かう。店は畳んだが、仕事は辞めない。

「夜間中学に行ってみてよかった。人生がちよつと広がった気がする。この春、小学生になる孫に漢字教えてあげんの、間に合いそうや」

財布には、新聞記事の切り抜きを折り畳んで入れている。自分の「生還劇」を伝える記事だ。まだ読めない漢字が多いが、時折眺める。がれきの下から助け出してくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れないように、との思いがある。

中学生になって初めて書いた作文に、こうつづった。

『いろんなところへ行って、ひとつをつかっしてしごとしたし、つかわれもした。さいこうも、さいていもしってる』

(1)(一)

右の「」内の文を漢字を交せて書き直してください。

--	--

(2)

このおばちゃんの人生のモットーは「きははやく、こころはずか、みはかるく」

--	--

(二) 本文中の漢字の応用練習

(1) 門がまえ (本文の―線添付字)

間 あいだ カン・ケン (ヤ) かん (しゅん) かん

柄 きやく

世

開 あける ひらく カイ (かい) し

演 まん かい

封 き

鏡

閉 しめる とじる ヘイ (へい) てん

口 かい へい

幕

鎖 さ てき

(2) 偏が似た漢字 (本文の―線添付字)

類 ルイ (こ) ねん、しん (の) けつ こん しき が お お く、い ろ ん な し ゆ (の) し き に し

ゆつせきした。しゅつせきしゃのにん を え たら、か お を し ら な い し ん

も いた。

数 かず スウ かぞ える

(三) あなたの感想を書いてください。

―供物狙ってカラス大挙襲来― (新聞記事)

墓前に供えられたお菓子や果物を食い散らかしたり、花立てを
持ち去つたり。カラスはお墓の厄介者だ。とくに3〜7月は食べ
物あさがり活発になる。巣作りに励む繁殖期だからだ。寺や霊園
側は供物の持ち帰りを呼びかけたり、ごみ箱にふたをしたりと、
自衛に懸命だ。

「カラスに御注意ください！墓花を抜いたり、線香立てなどを
割っています」

約220の寺社が集まり、約1万の墓があるといわれる天王寺
区。一角にある一心寺では、境内の約15カ所に張り紙を掲示して
墓参者に注意を呼びかけている。

供え物が増える彼岸やお盆の時期など、数十羽が大挙して押し
寄せ、菓子袋を破って食い散らかしたり、陶製の花立てを持ち去
つたりする。墓参の人の近くに急降下し、ヒヤツとさせることも
ある。

「突然やって来て危ないし、弱っています」と寺の住職。夕方
には本堂の屋根がカラスで黒く覆われるほどだ。

カラスの生態に詳しい天王寺動物園の獣医師、宮下実さんは
「カラスは10年ほど前からハトに代わって都会の鳥になっていま
す。環境への適応力が高く、人間の顔も覚えるカラスに対する自
衛は容易ではありません。エサになるお供え物を置かないことし

かありません」と説明する。

大阪市が管理する府内64カ所の霊園も、供物は持ち帰りが原則。墓前に残された供物は管理人が翌朝までに回収している。ごみ箱にはふたも付けている。

約1万2500の墓がある京都市東山区の大谷本廟は今月、門徒に送った維持費の通知書に供物は持ち帰るよう求める一文を載せた。

首都圏でも対策に躍起だ。東京都では石原慎太郎知事の肝いりで、カラス対策のプロジェクトチームをつくった。都立の3霊園でわなを設けたが、成果が上がらず、3月末までにいったん断念。一部で今夏の再開を検討している。

(一) 次の文を漢字を混じえて書き直してください。

「ひがんやおぼんには、せんぞや、なくなったかぞくのこうぶつとか、はなをもつてはかまいます。しかし、そなえたものをもってかえらなければならぬのはなんとあじけない。」

--	--	--	--

《「笑う門には福来る」を裏付け》（新聞記事）

若いころから人生を楽しんでいる人は、病気になりにくく、長生きできる。「笑う門には福来る」を裏づける研究成果が、米専門誌「人格と社会心理学」5月号に発表された。

スノードン米ケンタッキー大学教授らのグループが15年にわたって、678人の高齢の尼僧を対象に認知力と性格テスト、血液検査、死後の脳研究を続けた。平均約60年前に20代だった尼僧たちが自らについて書いた文章と合わせて分析したところ、「幸せ」「喜び」「愛」「希望」「満足」といった言葉が多い人たちは、こうした言葉が少ない人に比べ10年も長生きだった。

一日に何度も不安や嫌悪、怒りといった陰性感情をもつ人は、年を取ってから痴ほうやアルツハイマー病に悩むことが多く、心臓発作などで寿命も縮めていた。最も悲観的な人たちの死亡リスクは、最も楽観的な人たちの2.5倍に達した。

スノードン教授は「若いときの精神活動をみれば、85〜95%の正確さで60年後にどの人がアルツハイマー病にかかるか言い当てることができそうだ」という。陰性感情を持ちがちな人は長い年月に繰り返し自分の体にストレスを与えており、これが負の蓄積になるためだろうという。

(一) 漢字の練習

愛	喜び	幸せ
笑顔	満足	希望

(二) 自分の知らない漢字の練習

--	--	--

(三) 本文中の漢字の応用練習

(1) わか
いころから じん せい
を たの
しみ、樂觀的に い
きる ひと
は びょう

き
になりにくく、
 なが い
きできる。

(2) 文章の なか
で、
、
、
、
、
と

いった こと ば
を おお
く使う ひと
は寿命が なが
い。

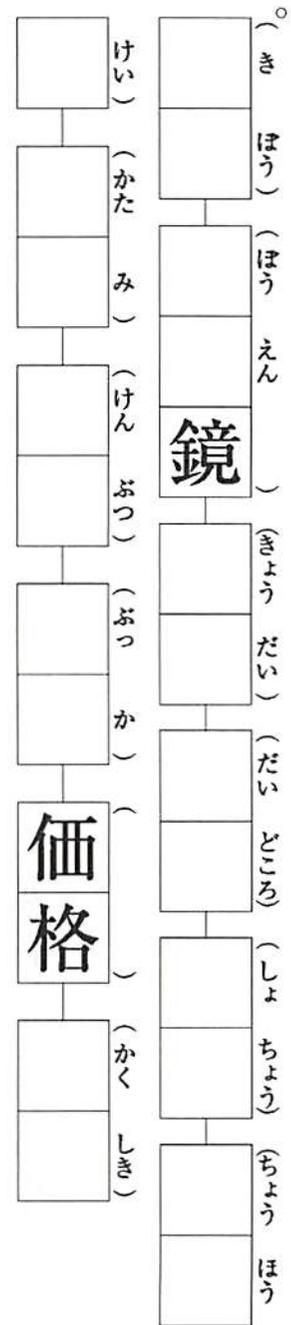
(四) 同音異義語 (文中—線の字)

次の漢字を使って文をつくってください。

性格

正確

(五) 漢字の尻取り



「老いてこそ」「始める」大切さ

(日野原重明さんへのインタビュー)

「老いてこそ、体も脳も激しく使わなくちゃ。休みなく、切れ目なく。ゆうべは原稿3本を書き上げるのに徹夜でした」

90歳(註・平成14年)が、さらりと言う。徹夜明けで、都内の医院で13人を診察。続いて神奈川県西部のホスピスへ。

聖路加国際病院の理事長など六つの財団のトップを務める。

毎週末は講演で、2月は山口、神戸、沖縄へ。昨年は海外にも5回。スケジュール帳は、3年先まで書き込めるものを使っている。

本業以外でも、ミュージカルの脚本執筆、作曲と、新しい挑戦を続ける。元気の秘けつなどを書いた「生き方上手」を出版したばかり。236冊目の著書だ。

「始めることを忘れなければ、人は老いませぬ。75歳を過ぎてからこそ」

2年前に立ち上げた「新老人運動」も軌道に乗ってきた。達者な75歳以上の人の生活習慣と、健康診断のデータを10年間、追跡調査する。遺伝子も解析して、元気、長寿の秘密を探る。すでに1700人が参加している。

6人の兄弟はみな80歳以上と、長寿家系のようだ。生活にも気を使う。朝食は、植物油を垂らしたジュースと牛乳たっぷりのコ

ーヒーだけ。昼もクッキー数枚と牛乳のみだ。夕食は、大好きな肉と魚、茶わん半分のご飯とポウル1杯の緑黄色野菜。以上で計1300カロリー。

睡眠は30代から5時間、階段は1段抜きだ。

「志は高く、暮らしは簡素に。生活習慣の大切さに早くから配慮した人の人生は実りも大きく、悔った人の人生はむなしなものに終わるでしょうね」

―果物人気順位「楽ちん」バナナ躍進―

(新聞記事)

日本人が食べている果物の1位は温州ミカン、2位はバナナだ。総務省家計調査「生鮮果実の年間1人当たり購入量」によれば、02年はミカン6.3キロ、バナナ5.2キロ、リンゴ4.9キロ。バナナは1.5週に1本食べている勘定だ。

バナナは99年にリンゴを抜き2位に躍り出た。余勢を駆ってミカンに迫っている。実はここに、日本人の果物に対する考え方が隠されている。

02年春、果物消費低迷の原因を探ろうと、中央果実基金が首都圏の主婦を対象に調査をしたところ、「買わない果物の理由」として「高い」に次いで「食べるのが面倒くさい」が2位に入った。ほかに「ごみが出る」「持ち帰るのが面倒くさい」「タネがある」など、「面倒くさい系」の答えが上位に並んだ。

最も果物を食べない世代である20、30代では、「食べるのが面倒くさい」が理由の1位だった。梨や桃はナイフがいる。大きなリンゴは切り分ける必要もある。ブドウは手がぬれる―。

「ネイルアートの流行で、ツメが汚れるから嫌という若い女性も増えている」と、女子栄養大学の吉田教授はあきれれる。「面倒くさい」は、果物だけの話じゃないんです。料理を作らない。生ごみが出るから魚を買わない。きちんと食べることが生きること

の基本なのに」

果実基金の調査では、購入理由の1位は、ミカンでは「おいしい」、バナナでは「安い」だったが、2位はどちらも「食べやすい」だった。つまり、食べるのに面倒くさくないというわけだ。

売り上げ上位を占めるには、年間を通じて、常に店頭にあることが重要だが、この点でもバナナは有利だ。熱帯の多年草の果実であるバナナは年間を通じて計画的に収穫、出荷できる。

輸入されたバナナは、エチレンガスを充満した大型倉庫で成熟を速める「追熟」をする。店頭に並ぶのは収穫の10〜14日後。それが3、4日ごとに入れ替わっていることになる。

高地栽培で、昔より甘いものも登場した。

さらに99年秋に思わぬ追い風が吹いた。日本癌学会で「熟したバナナが免疫力を高める」という発表があった。皮の表面に黒い点々、シユガースポットが出るころのバナナが特にいいとされた。翌年、輸入が急増、100万トを突破した。

「当時のブームは去りましたが、その後も高水準を維持している。いずれミカンを抜きます」。日本バナナ輸入組合の正木さんは強気だった。

(一) あなたはどんな果物が好きですか。そしてその理由は何ですか。

--	--	--

(二) 本文中の漢字の応用練習(本文中—線添付字)

面 おもて おもつら メン

対 たい ツイ

照	

	一

定 じやう テイ さだ (めい) (まろ)

	規

栄 えい エイ さか (える)

果 か は (たす) (てい) (る)

気 き ケ

(三) 漢字の尻取り

合	

リハビリ耐え96歳 // 恩返し // (新聞記事)

阪神大震災しんさいの朝、兵庫県西宮市で1人で暮らす土井常子つねこさん(96)の日課にっかは途切れた。戦前から半世紀以上、自宅近くの道路掃除そうじを続けてきたが、震災で全壊した家の下敷したじになり大けがをしたからだ。1年半のリハビリを経て再開。今もほうきを持つ。100歳まで続けるのが当面の目標だ。

明治40年生まれ。昭和6年に結婚。以来、自宅前の阪急電鉄沿線えん約50坪の掃除が習慣しゅうかんになった。

95(平成7)年1月17日は午前5時過ぎに目が覚めた。着替えたところで大きな揺れに襲おそわれた。気がつくくと、崩れた家の梁はりが覆いかぶさり身動きがとれなかった。痛みに耐えきれず、死のうと思つて息を止め、「早く息が絶えますように」と願った。

6時間後、近所の人たちに助け出された。脇腹わきばらと左足の計4カ所の骨が折れていた。

2カ月後にリハビリが始まった。当時87歳。弱った足に力が入らず、ひざを曲げるだけで悲鳴ひめいをあげた。初めて1人で立つことができたのはその年の5月。看護師や家族に拍手はくしゅで祝福され、涙が出た。年末に退院。食事の準備や入浴が自力りきでできるようになった翌年6月、「二度なくした命。街に恩返しを」と道路掃除を再開した。

午前7時半。手押し車に、ほうき、ちりとり、ポリ袋ぶくろをのせて家を出る。夙川公園しゅくくわん近くの道路脇わきに落ち葉は多いが、ポイ捨ては減った。通りかかった人から「いつもありがとう」と声がかかる。

(二) 二字熟語 (A↓Bの順序で、本文中と同じ熟語)

A | 日・公・道・習・拍・笑・感・看・入・震・準・結
B | 慣・婚・災・浴・護・課・備・路・園・謝・手・顔

(三) 阪神大震災のときのあなたの状況じょうきょうを書いてください。

—冬こそシャキッと過ごそう— (新聞記事)

いつの間にか、冬の足音が近づいてきました。体の芯から冷える季節こそ、活発に動いてみませんか。

なぜ、人は寒いと動きたくなくなるのでしょうか。プロスポーツ選手も治療に訪れる整骨院のトレーナー油谷さんは「体をつかさどる筋肉と神経が原因」と言います。

体が縮こまるのは、冷気に当たる部分を減らそうとする人間の本能。ただ、その本能に従い、ひとつの姿勢でいると筋肉は縮こまってしまいます。すると、血流が滞り体内に悪いものがたまり、肩こりなどの症状が出ます。寒くても肩をすぼめずに手や首を回したり、屈伸したりすることが大切です。

油谷さんは、冬の水分補給を重視します。体内の粘膜が乾燥すると、ばい菌が付着しやすくなります。汗をかく夏には自然と水を飲みますが、冬にはその意識が薄れます。ミネラル分の多い水をこまめに飲むことです。部屋に加湿器を置くのも、乾燥防止には効果的。暖房は体を温める半面、乾燥を促進してしまいます。使用はなるべく短時間にとどめましょう。

食べ物はカプサイシンという成分を含んだものがお勧め。つまり唐辛子です。目覚めを早くする効果もあり、朝からシャキッとしたいなら、最適。キムチなどを就寝の約3時間前にとると、汗が出て、深い睡眠につながります。大根、にんじんなどの根菜類も体が温まります。

寝る前にお風呂に入るときは、心臓に負担をかけない半身浴が

へつり革高低模索かわこうていもさく（新聞記事）

高くするべきか、低くした方がいいのか。関西の鉄道各社が、電車のつり革の高さに頭を悩ませている。日本人の平均身長は伸びており、高くすればいいかというところ、高齢化でお年寄りの乗客も増え、その配慮が求められるからだ。中には迷った末、2種類の高さのものを交ぜて並べた電鉄もある。一方で、関東の私鉄では、低くする動きがひと足先に進んでいるようだ。

日本人の平均身長（01年度）は、17歳男子で戦後に比べ10センチ伸びて約171センチ、女子は6センチアップの158センチまで高くなった。これを受け、関西の鉄道会社では80年代に入り、床からつり革までの高さを高くする動きが出てきた。

JR西日本は、163センチだったのを88年導入の新型車両から170センチに高くした。南海電鉄も84年から投入した車両から158・4センチを161・5センチに少し高めた。いずれも「日本人の身長の伸びを考えた」という。

一方、低くしたのが近畿日本鉄道。00年に導入した通勤向け新型車両は従来の162センチに加え、158・5センチを二つずつ交互に並べるようにした。見た目はデコボコで、奈良線や大阪線などで98両が走る。

広報部は「『つり革が高い』『手が届かない』という声が寄せられたため、お年寄りや女性に配慮した」とし、同様の車両を今後

増やしていく方針だ。JR西日本も「つり革の高さや握り棒の設置など、高齢者により配慮できないか検討中」という。

つり革の高低について、利用者の間では賛否は分かれるようだ。

JRをよく利用する大阪市の主婦(67)は「バリアフリーの世の中なんやから、もっと低くしてほしい。つかまえることはできても、ひじを伸ばしっぱなしだとつらい」。身長が150センチ半ばの女性会社員(23)も「車内がすいている時にはいすの横の棒にかまったりできるけど、満員の時につり革は結構しんどい」と話す。

一方、神戸市の男性会社員(32)は「電車が揺れた時、つり革が頭や目にあたることがある。特に眼鏡をかけている人は危なくて大変だと思う。つり革は高い方がいい」という。

関東では、東急が99年から通常の163センチと153センチの2種類を付け、西武は03年度導入の車両から優先座席前を通常よりも10センチも低い153センチにしている。東武、小田急、京王など私鉄各社も優先座席前につり革を通常より5〜10センチ程度低くしている。

(一) あなたは乗り物のつり革で不便を感じたことがありますか。

--	--	--

(二) 本文中の漢字の応用練習 (本文中—線添付字)

通 ツウ・ツ
とおる(す
かよう)

	夜

	普

利 リ
きく

	子

	権

	手

優 ユウ
やさしい
すぐ(れる)

	女

	越

	柔

結 ケツ
むす(ぶ
ゆ)

	局

	納

	び

大 ダイ
おお(きい
い)

	人

	切

(三) 漢字の尻取り

め

がね

たい

ふう

しゃ

りょう

手

しゅ

るい

段

おち

ば

菜

「よみかき茶屋教材事例集～新聞を使って学ぶ②」

執 筆：よみかき茶屋 黒田美智代
編 集：大阪市立総合生涯学習センター
TEL：06-6345-5009
FAX：06-6345-5019
発 行 日：平成17年3月
発 行：大阪市教育委員会

※本文中に使用した新聞記事の著作権は朝日新聞社に帰属します。